第18号

まーぶる通信

2015 年 5 月 13 日

発行者　福富 恵美子／編集者　髙田 一範
〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 39 番地
TEL (075) 874-5639 (代表・居宅)・(075) 874-5617 (デイ・ショート)　FAX (075) 874-5640 (共通)
E-mail：marble.2009@room.ocn.ne.jp　ホームページ：http://www.marble2009.org
Facebook：http://fb.com/465262290180944

2015 年度を迎えて

理事長　福富恵美子



今年の春はソメイヨシノの時季が短かったですね。でも、例年に違わず、まーぶるの皆さんは、天神川の桜並木を思いっきり楽しみました。そして早５月。

昨年度より準備をしていました中京区での重症心身障害児放課後等デイサービス事業も、いよいよ５月末に建物が竣工、６月 15 日頃からこども達が集うことになりそうです。事業申請直前の２月 20 日になって、それまでにない人員配置基準の解釈が厚生労働省から出たり、障害者総合支援法上の報酬単価の改定（トータルでは ±０といわれてますが、デイサービスの減算基準が厳しくなったりで実質はマイナス）があったり・・・。そして、昨年度末での退職職員が重なったりもして、なかなか厳しい春を迎えています。

しかし、非常勤も含めて強力な助っ人が来てくださったことで、新たな展望がひらけそうです。

そして、まーぶるは今年５周年を迎えます。

何か記念となる事ができたら良いなと、ひとりで妄想しているこの頃なのです。（重心デイのことやら何やらで一杯一杯のはずですが、現実逃避しようとしています）妄想を妄想で終わらせないように、設立５年を経て、改めて、原点に立ち返ってなすべき事を考えるきっかけにしたい。そんな何かを実現したいなと考えております。

まーぶるにじょう について。

前号でお知らせしておりました、重症心身障がい児放課後等デイサービスの名称が決まりました。「まーぶるにじょう」まーぶる、ぽぽろ、ぽれぽれ、ときて、次の所の名称をどうしようかと思案していたのですが、本部のある西京極ではなく、中京区での開設であること。どこの法人がどういう理念で行うのか、ということをわかりやすくするために、あれこれ考えずに、素直にこの名称にしました。（今のところわかりやすい、と好評です）中身については配属スタッフと共に鋭意検討中です。すでに、利用希望の方の面接もはじまりましたが、いろいろやらなければならないことが山ほどあります。しかし、いろんな所からいろんな方がお手伝いくださり、進めていくことができました。

何よりも、ここに集うこども達の「想い」、親を始め、「家族の思い」、そして、一緒にいる人たちみんなの思いをしっかりと受け止めながら歩んでいきたいと考えています。

法人が運営する拠点が２カ所になり、うまく回っていくようになるまでのしばらくは皆さまにもいろいろとご迷惑をおかけするかもしれませんが、なにとぞご理解とご協力をお願いいたします。

新人職員の紹介



この度、4 月からＮＰＯ法人まーぶるで働かせて頂くことになりました池田（いけだ） 誠二（せいじ）です。趣味は野球観戦です。阪神が好きで年に３～５回は甲子園に行っています。

去年の 10 月からアルバイトとして働いていたのですが、常勤職員になるとアルバイトの頃に比べて、かかわらせていただく方の数が多くなり、たくさんの事を学んでいる所です。

まーぶるでは重度といわれる方が多く、私は重度の障がい者を今まで支援してきたことが無かったので、重度の障がい者について働いていて知ることがいっぱいあります。その中でも医療ケアはご本人の命に関わるので、しっかりと学んでいきたいと思っています。

支援をしている中で、まーぶるのみなさんはいつも楽しそうにまーぶるでの生活を送られていて、私に優しく接して下さるので私も楽しく支援していています。なので、私もみなさんにまーぶるでの生活を少しでも、より楽しく送れるように支援を頑張っていきたいと思います。分からない事だらけではありますが、なるべく早く仕事に慣れていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

～ ４月からの職員体制について ～

昨年度末、職員の入れ替わりがあり、４月より下記の体制で運営させていただきます。
また、6 月に開所予定の重症心身障がい児放課後等デイサービス「まーぶるにじょう」の職員体制につきましても、下記の予定をしております。正式に決まり次第、追ってお知らせいたします。

居宅介護事業所まーぶる

相談員　古田（ふるた） 礼（ろ）（サービス提供責任者）
相談員　福富（ふくとみ） 想（そう）

デイサービスぽぽろ

主任　立林（たてばやし） 由加里（ゆかり）（サービス管理責任者）

ショートステイぽれぽれ

福富（ふくとみ） 想（そう）
松野（まつの） 桂子（けいこ）

まーぶるにじょう

管理者・児童発達支援管理責任者　福富（ふくとみ） 恵美子（えみこ）
保育士　山野（やまの） 久恵（ひさえ）
看護師　本並（もとなみ） 奈津（なつ）
児童支援員　荻野（おぎの） 千鶴子（ちづこ）
P.T　船所（ふなしょ） 佐和子（さわこ）、高野（たかの） 祥子（しょうこ）
心理指導員　山本（やまもと） 智子（さとこ）



まーぶるコラム

― 障がい者と普通 ―

大橋 奈緒子

さて。前回に引き続き「普通」シリーズです。前回は、普通って言葉の曖昧さや怖さのお話をしてきたと思います。その後も、今回のコラムに向けてこの「普通」という言葉と向き合ってみましたが、結局答えらしきものは出ずでした。

とりあえず。「障がい者と言われる人たちは普通か？」と聞かれればみなさんどう答えるでしょうか？



私は「YES」でもあり「NO」でもある。と考えています。感情をもって、誰かと関わりながら生活をしている普通の地域での生活者だと思います。しかし、その生活をする中には様々な「障がい」があり、それが生きづらさとなってしまっている社会があると思っています。

いわゆる「障がい者」といわれる人たちの「障がい」って何なんでしょう。

私は、目が悪いので常にメガネをしています。このメガネがなければ、知らない場所を歩くことは怖いことだし、車の運転なんて怖くてできません。でも、メガネがあれば少々知らない場所でも普通に歩けますし、車も問題なく運転できます。

人は誰でも年を重ねると、体のいろいろなところに不自由を感じるようになります。昔ながらの日本家屋は戸口も小さく、段差も多い家でしたが最近は部屋の間の段差もないように作られているところもあります。

このお話しで気づいていただけた方もおられるかと思いますが、環境が整えば問題が問題でなくなるのかもしれません。

「障がい者」と言われる人たちは正確に言うと「環境等によって当たり前の生活をすることを障がいされている者」っていうことなんじゃないかな？なんて思ったりします。

その環境は家や道路などのハード面だけでなくて。私は仕事を始めて、家を出て一人暮らしを始めました。多くの方は大学進学や就職、結婚などで実家を離れて自分で（あるいは新しい家族と）生計を立てて生活するということを経験されてきているのではないでしょうか。家を出て自分で生活することで初めて知る家事の大変さや本当の自由･楽しさ。きっと、その中でいろいろな経験をしていろいろな学びがあったのではないですか？

しかし、彼らの中にはそういった経験ができない人が多くいます。ずっと家族のもとで生活をして、親からの介護が難しくなったら施設へ…。親が悪いわけではありません。親は先に年老いて先に死んでいくものです。それが、自然な私たちの社会ですよね？

だからといって、入所施設をすべて潰してしまえばいいとも思いません。どうしてもそこに頼らざるを得ない場面だってあります。

その人たちが普通に地域にいて、そこで育っていて。地域のつながりの中に存在している。その中で、本人の選択があり、本人の経験不足を共に経験していき、本人とともに地域に存在することをみんなが認識できれば…もしかしたら少しあたたかい地域になるのかもしれませんね。

いつもご愛読いただいていましたまーぶるコラムですが、 今回をもちまして大橋の記事は終了となります。
通信第６号から12回。好評をいただいていましたが、大橋の退職に伴い、書き手とスタイルが変わります。
次回からも請うご期待！



2015年度会費納入のお願い

2014年度も当法人の会員の皆様をはじめ、多くの皆様のご尽力を賜りました。厚く御礼申し上げます。

2015年度も引き続き、会員としてご支援賜りますようお願い申し上げます。

また、新たな会員として、まーぶるの活動に参加していただける方も募集しております。

会費につきましては、下記の口座へお振り込みいただくか、現金でお持ち頂けると幸いです。

会費　2,000円/年

京都中央信用金庫　西京極支店 普通 0453574
特定非営利活動法人まーぶる　理事 福富恵美子

お知らせ

2015年3月31日付で退職致しました。

ショートステイぽれぽれ　主　任　大橋 奈緒子
デイサービスぽぽろ　副主任　松山 晶予

設立まもなくから働いて下さっていたおふたりの退職は、寂しいものもありますが、各々の新たなステップを応援しています。
また遊びにきて下さいね！

編集後記

皆さんゴールデンウィークはいかがお過ごしだったでしょうか？

私は・・・来年こそはゴールデンウィークを作りたいな・・・っていう感じです＾＾；

この通信は本来であれば、4月の発行なのですが、あっと！いうまに4月になり、なんだかんだで発行が5月となってしまいました。すみませんでしたm(__)m

次回からの通信は、6月開所予定の「まーぶるにじょう」のことも一緒にお伝えしていけると思います。

今後もまーぶる通信をよろしくお願い致します。

高田

